

シンポジウム

青森県の裁判員裁判

—これまでの15年間を振り返る

裁判員制度が施行されて10年が経過した2019年に、法曹三者、裁判員経験者等で青森県の裁判員裁判を振り返るシンポジウムを行いました。今回は、それに続いて、15年目を迎えた裁判員制度の成果と課題を検証したいと思います。

本シンポジウムでは、法曹三者、市民(裁判員経験者)、研究者それぞれの視点からどのように裁判員裁判が映っているのかを語ってまいります。その上で、次の5年に向けて、どのように改善していくべきかを、来場者のみなさんを交えて議論したいと思います。

第1部 報告

「裁判員裁判15年の成果と課題」

平野 潔(弘前大学) 飯 考行(専修大学)

第2部 インタビュー

「裁判官の目から見た青森の裁判員裁判」

【登壇者】 古玉 正紀(宇都宮地方裁判所)
寺尾 亮(東京地方裁判所)
小澤 光(青森地方裁判所)

【インタビュアー】 平野 潔(弘前大学)

第3部 パネルディスカッション

「青森の裁判員裁判15年を振り返って」

【パネリスト】 裁判員経験者、法曹関係者など

【コーディネーター】 飯 考行(専修大学)

2024年11月16日(土) 14:00~17:30
弘前大学創立50周年記念会館 2階岩木ホール

(文京キャンパス内) (Zoomによるオンライン同時配信を行います)

※入場無料、事前申し込み不要(オンライン参加の場合は必要)

※会場にお越しになる場合、事前の申し込みは不要です。

※オンライン参加を希望される方は、下記「問い合わせ先」までメールで

「お名前」「ご所属」「連絡先メールアドレス」をお知らせください。追ってZoom会議URLをお知らせします。

【入場無料】



HIROSAKI
UNIVERSITY

主催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター

問い合わせ先：弘前大学人文社会科学部・平野 潔

tel&fax: 0172-39-3199 e-mail: k-hirano@hirosaki-u.ac.jp